

## 開会式典

### 開会宣言

守る会三原則の唱和  
主催者挨拶

東北ブロック福島県支部長  
秋田県支部  
東北ブロック長  
(代理副ブロック長)

見原 勲  
大竹以久子  
田村 輝雄  
秋元 俊通

田村ブロック長はただ今入院加療中。実り多い大会でありますようにとのこと。「ともに輝こう」をテーマに開催。全国守る会は昨年 40 周年を迎えた。福祉制度の世代交代の時期にきている。守る会は自ら活動する「運動体」。一昨年度は支援費制度のスタート、昨年度は国療の独立行政法人化やグランドデザイン法の施行等、今年度は障害者自立支援法の国会提出があり、変動の時期にきている。入所入園者の家族負担が増加するし、入所入園者の再区分も行われる。各支部は 1 人の落ちこぼれもないように。介護保険法は「福祉はお金で買う」、支援費制度は「待っていれば手に入らない」ということにつながる。「一人も漏れなく救い育てる福祉」(北浦イズム)守る会の理念は共生と共感。未加入の人に伝え、会員を増やしてほしい。今年の全国大会は高松で行われ、遠隔地のため東北の参加者が少なかった。この大会で情報交換を積極的に行ってほしい。

### 歓迎の挨拶

秋田支部長

鈴木セイ子

多数のご参加に感謝。今年度秋田支部結成 10 周年を向かえた。2 日間 36 名のケアボランティアが参加協力している。私自身苦しみをのり越え喜びに変え、笑顔で暮らせるようになってきた。「ともに輝こう」2 日間でこのテーマに近づくことができ道筋ができればと思う。

### 来賓祝辞

秋田県知事  
(代理県健康福祉部次長)

寺田 典城様  
佐藤 貫様

秋田 2010 チャレンジプラン。福祉、医療、教育の施策に取り組んでいる。障害者自立支援法は利用者負担の見直しや障害者区分の見直し等課題があり、福祉サービスが減退しないようにしていきたい。2 日間活発な意見発表と情報交換を期待したい。

**来賓祝辞**

秋田市長  
(代理市福祉保健部次長)

佐竹 敬久様  
原田 健様

ようこそ美の国秋田へ。障害者支援は社会全体が担うものである。会員相互の積極的な活動が行われることを祈念する。

**来賓祝辞**

秋田県社会福祉協議会会長  
(代理副会長)

佐々木 満様  
鈴木彪四郎様

守る会はもっと早く立ち上げるべきだった。2日間討議してそのことが国や県に反映されるように願う。

**来賓紹介  
体験発表****「子どもの成長とともに考えること」**

秋田県支部(在宅)

内川 正夫

長男 29 歳。1 歳半まで順調な生育。その後風邪をこじらせ熱発，化膿性髄膜炎後遺症に。3 ヶ月入院。退院時には寝たきりに。水頭症でさらに 1 ヶ月入院。母子入院でリハビリ等あらゆることを試みる。小 1~中 3 岩木病院でローリング，比内養護学校東山分校訪問学級と浪岡養護学校の病院学級に。コーディネーターの尽力で週 2 回の入浴サービスを受ける。(現在 3 回) デーサービス週 1 回午前中通園から現在は B 型通園で日曜日以外通園を行っている。ショッピングやレストランでの食事も楽しんでいる。妻もリフレッシュできるようになった。生まれてきて幸せだったという日々を過ごさせたい。これからもいろいろな体験を通して親子の絆を深めたい。

山形県支部(施設)

山川 信子

長女 38 歳。入院して 32 年。幼い頃覚えた童謡を今でも楽しそうに歌う。年 4 回の里帰り。ドライブ好きで障害者専門の温泉に連れて行く。数十年前は路頭に迷っていた生活も今では思い出に。建設会社に勤務する息子が施主の障害児と接し，これまでの経験が生かされた。家族全員娘に教えられたものがたくさんある。生まれ変わっても親子でいたい。